

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 27年 6 月 27 日			
所属学部・研究科	総合科学部 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	トゥールーズ ジャンジョレス大学 (国名: フランス)			
所属学部・学科等名	Department d'Etudes du Français Langue Etrangère (DEFLE)			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 26年 9月 1日～平成 27年 6月 30日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: 在日フランス大使館			
	取得方法: キャンパスフランスでのオンライン手続き→大使館で申請 提出書類: ビザ申請書、大学の登録証明、経済証明、証明写真、パスポート、移民局提出用フォーム (大使館に行く前に、キャンパスフランスでオンライン登録をしていることが前提です。)			
	手続きに要した日数: 2ヶ月			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 2014年 9月 2日			
経路	福岡空港→アムステルダム・スキポール空港→パリ・シャルルドゴール空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・ <input checked="" type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	日本語を学ぶ学生グループ OKIN をお願いをすれば、空港までの送迎やその他諸登録などを手伝ってもらえます。また大学にて今後の予定や提出書類などの説明会が、フランス語と英語で行われます。			
帰国年月日	平成 2015年 6月 26日			
経路	トゥールーズ・ブラニャック空港→アムステルダム・スキポール空港→関西国際空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	120万	円	
	内訳	渡航費	16万	円
		保険料	15万	円
		教科書代(学費)	0	円
		宿舍費	25万	円
		食費	20万	円
		その他 (費)	44万	円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				
2014年 1学期	9月 22日	～	1月 16日	

日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)		
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	水道水は飲むことができます。ただし中にはお腹を壊す人もいますので、注意が必要です。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
比較的治安は良いです。しかし女性の夜の一人歩きは要注意です。特に大学周辺は治安が悪いので、十分な注意が必要です。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
交通の便がよく、生活必需品もそろそろ快適な街です。夏の日差しが強く10月頃までは半袖で過ごせました。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 28年 3月	(当初の卒業予定年月 平成 年 月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院進学	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫		
6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
7. 自由記述(後輩へのアドバイス等)		

学習の概要に関するレポート

まずは留学開始からおおまかな流れを説明します。現地に到着する前に（つまり日本で）web上のテストを受けます。これは語学学校（DEFLE）のクラス分けに用いられるテストです。これによって1年生から5年生までのクラスに振り分けられます。このテストはweb上で一度しか受けられず、途中で止めたり操作を間違えたりすれば、やり直しが出来ないというものでした。しかし実際には多くの人が受験中に操作ミスをしてしまっていたようで、留学先の大学で再試を受けている人を多く見受けました。大学に到着後、オリエンテーションがフランス語と英語で行われます。この時に授業登録の方法やスポーツ・芸術の選択などについての大事な説明があります。この頃には既に自分がどの学年のどのクラスに所属しているのかが掲示されています。後は指示に従って、授業登録などを行います。

次に授業内容ですが、私の所属していた3年生では、DELFBという語学テストの、レベルB2取得を目指すためにプログラムが組まれています。詳しくは、ライティング、リスニング、リーディング、スピーキング、文法などに加え、フランスの歴史や社会についての授業などもあります。HUSAの留学生はDEFLEの授業以外にその他の学部の授業を取ることも出来ます。フランス人の先生方は（人にもよりますが）分かりやすくゆっくり話すことはあまりなく、普通のスピードでしゃべります。そのために最初はついていくのがなかなか難しいかもしれませんが、だんだんと慣れてくるのでそんなに心配はいりません。授業中は聞くことがほとんどで、発言の時間はそう多くないので、何か発言したければ積極性が求められます。周りの留学生たちはどんどんと発表し、先生も質問を受け付けてくれるので、非常に発言しやすい雰囲気ではあります。3年生では宿題は比較的少ないですが、テストに合格するにはやはりそれなりの準備が必要です。ちなみに、テストでは20点満点中半分の10点をとる必要があります。もし失敗しても学年末に再試があるので、単位が必要であればそれを受けることも可能です。

学年の最後に、大学で語学テストDELFDALFを割引の値段で受けることもできます。このテストは世界で通用するフランス語能力のテストです。前にも述べましたが、DEFLEの授業はこれらのテストを受ける準備のために作られているので、ぜひ力試しに受けてみることをお勧めします。

最後に、トゥールーズ大学のDEFLEには、様々な国から様々な目的でフランスにやってきた留学生・社会人が集まります。「フランス語が上達したい」という強い意思をもったクラスメイトたちに囲まれるため、いい刺激を受けながら勉強を続けることができます。もし何か学習で困ったことがあれば、クラスメイトに相談することが大切です。きっといい友達にもなれると思います。

生活の概要に関するレポート

トゥールーズはフランス南部に位置する、国内第4の規模を誇る街です。多くの建物が赤煉瓦でできているために *la Ville rose* バラの街、という愛称で呼ばれています。またエアバスのお膝元で、大きな産業都市でもあります。フランス各地へのアクセスも良く、スペイン・バルセロナにはバスを利用して行くこともできます。気候に関しては温暖で、雪が降ることはめったにありません。夏は太陽の日差しが強く10月半ばくらいまで防寒具は全く必要ありません。冬には多く雨が降ります。

フランス国内では規模の大きな街なので、必要なものはほとんど手に入れることができます。街の中心部まで出れば、様々な雑貨店、本屋、レストランなどを見つけることができます。交通の便がよく、一ヶ月10ユーロで、市内のバス・メトロ・トラムに乗り放題です。大学への通学もバス・メトロを利用していました。ただし、私のいた年には運転手のストライキが多く、バスやメトロの運行が止まってしまうことがありました。これはどうしようもないので、歩いていくか、他の交通手段を探すしかありません。また治安は比較的良く、私自身、盗難などの被害にあったことはありません。しかし中には被害にあった人もいますので、「ここは日本ではない」ということを忘れずに、注意することは大切です。特にジャンジョレス大学付近は治安が悪く、夜の一人歩きは避けた方が良いでしょう。

寮の生活に関してですが、入寮時にキッチン付きの部屋かそうでない部屋を選べると思います。建物は1号棟から6号棟まであり、私は6号棟に住んでいました。5、6号棟は私が留学する直前に完成したため新品の状態でした。入寮時に部屋の機器がちゃんと機能するかなどのチェックを行うので、その時には壁の染みや電気の不調など、気づいたことがあればなんでも申告書に記入しておくことが大切です。寮内は基本的に安全ですが、部屋を数分空けていた間に鍵を閉め忘れていてパソコンを盗られたという事例もあります。また不審者が侵入して騒ぎになったこともあるので、特に戸締まりには十分な注意が必要です。

最後に、私たちが快適な生活をスタートするために、ジャンジョレス大学で日本語を学ぶ学生のグループ *ôkin* が日本人留学生をサポートしてくれます。銀行や保険の手続きなど一人で行うことは困難なので、一人で全て抱え込もうとせずに、助けを求めましょう。ジャンジョレス大学には多く日本語を学ぶ学生がいるので、簡単にフランス人の友達を作ることができます。お互いの言語を教え合ったり、みんなでパーティーをしたりと、とてもいい関係を築くことができます。